

# 天寿全うまで健康な社会を実現しましょう

「天寿を全うする直前まで健康でいられる社会の実現」というテーマを掲げて、2019ワールド・ライアンス・フォーラム東京円卓会議が開かれました。

フォーラムは、このコラムで何度か紹介した原丈人さんが代表のアライアンス・フォーラムの主催です。

フォーラムの登壇者には、日本医師会の会長や内閣総理大臣補佐官、医学部の教授、大企業の社長さんなど、錚々たるメンバーが並びました。

原さんは基調講演と総括で、テーマについて説明しました。以下は、その一部要旨です。

## 理想の実現のためには 三要素が必要です

「天寿を全うする直前まで健康でいられる社会」という理念の実現のためには、三要素が必要です。

三要素とは、がんを治す、目を治す、といった「テクノロジー・イノベーション」。新薬の許認可などの「制度イノベーション」。テクノロジーと制度イノベーションが同じ方向を目指すための「エコシステム」です。

二〇一四年にわが国は、薬事法を医薬品医療機器等法と改正

して、再生医療において安全性を確保しつつ迅速な実用化が図られるようになりました。

特区制度で、医療イノベーション国家戦略特区が生まれました。ここで難病治療、まず潰瘍性大腸炎、パーキンソン病、ALS（筋萎縮性側索硬化症）など患者数が比較的多い二三種の病気の治療を行なえるようになれば、すばらしいことになります。これらの患者数は、北アメリカは二七〇万人、ヨーロッパには三六〇万人いるといえます。

患者の中には、自費で治療が可能になれば来日する人もいるでしょう。経済効果は年間三・三兆円という試算が出ています。さらに難病約六五〇〇種の治療が日本であれば可能、という世界的評価を受けることを目指しましょう。

このように動いて行けば、天寿を全うする直前まで健康の確保はできそうですが、所得がなくては人生を楽しめません。社会全体に、成長を還元しなければなりません。

最近では、株主資本主義のアメリカでさえ、モルガン、GM、アマゾンといった多くの企業が、株主第一ではなく、顧客、従業員、仕入先、地域社会の利益を尊重する事業経営に取り組むと宣言しています。

では、株主資本主義とはどういうものでしょうか。



●(株)アオキ取締役会長  
**青木 豊彦** (あおき・とよひこ)

1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし、人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。現在は(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。



かつてアメリカン航空は、経営破綻の危機に約四〇〇億円、従業員の給料を削減しました。その成果として、経営陣は二四〇億円に相当するボーナスを、もらっています。

多くのアメリカの経営陣は、会社は株主のものだから、経営陣は会社の負債である従業員を切って、会社の価値を上げた。だから、破格のボーナスをもらうのは、正しいというのです。

こういった株主資本主義に対して、公益資本主義があります。公益とは、私たちおよび私たちの子孫の経済的および精神的な豊かさです。会社とは社会の公器なのです。

即ち、公益資本主義とは、1. 社中分配(社中、つまり顧客、仕入先、株主、従業員、地域社会に適正に分配)、2. 中長期的投資、3. イノベーション起業精神(発明、発見、改良、改善に努め起業精神をもって経営すること)なのです……。

**僕なんかの興味は  
医療イノベーション  
国家戦略特区です**

いやあ。原さんには何回もお会いしてますが、そのスケールの大きさにはいつも圧倒されます。僕なんかの興味は、関西の医療イノベーション国家戦略特区です。

僕等の財団「医療コンソーシアム」も下町スコープをつくったように、医療技術者の腕を上げることのお手伝いをします。機器だけでなく、医療環境の改革を目指しています。

なんや? 東京のおっちゃん。あされたような顔してるな。僕の言うことおかしいか?

「そや、ありません。フォーラムのすぐ後、青木さん一緒に

ご飯食べてたとき、考え込んでましたね。新しいひらめきがあつたんやろう。さすがやな、と思うてたんですが、「おかしい、何で食べられんのやろ。ご飯を三分の一も残してしました」って言いましたな。

なんですか。あれ。どんぶり飯食べられないって。

最近、奥さんの指導で、まず野菜サ

ラダ食べて、よく噛んで言うてましたが、それで胃が小さくなったんですわ。七十代半ばで、どんぶり飯完食しようと思っこと自体、おかしいんです。そんなんで考え込まんでください」

そ、そんなこと今、言わなくてもええやないか。せつかくええ話してるのに身もふたもないやないか。

「まあ、青木さんらしい締めで、読者も安心すると思います。最後までまともやったら、このコラムの意味ありませんからね」

この人は、いつもほめてるのか、けなしてるのか……。

■株主資本主義と公益資本主義の対比

	株主資本主義	公益資本主義
会社の意味	株主の所有物 (利益を生むもの)	独立したコミュニティ (事業を通じて、社会の役に立つモノや情報、サービスなどを提供するもの)
経営の責任	株主にとっての企業価値の最大化	社中のために経済的および精神的な価値を創造すること
利益の意味	株主に分配するもの	社中全体に対する分配の総和(公益)
意思決定基準	短期間で効率的に利益を生むか否か (株主価値)	長期持続的な利益と社会貢献を両立できるか 否か(買い手よし、売り手よし、世間よし)
コーポレート・ガバナンスの意味	株主を守る(企業不祥事防止と 企業価値最大化の仕組みづくり等)	社中を守る(企業の社会貢献の促進、 短期利益に惑わされない仕組みづくり等)

(出典 2019 ワールド・アライアンス・フォーラム東京円卓会議パンフより)